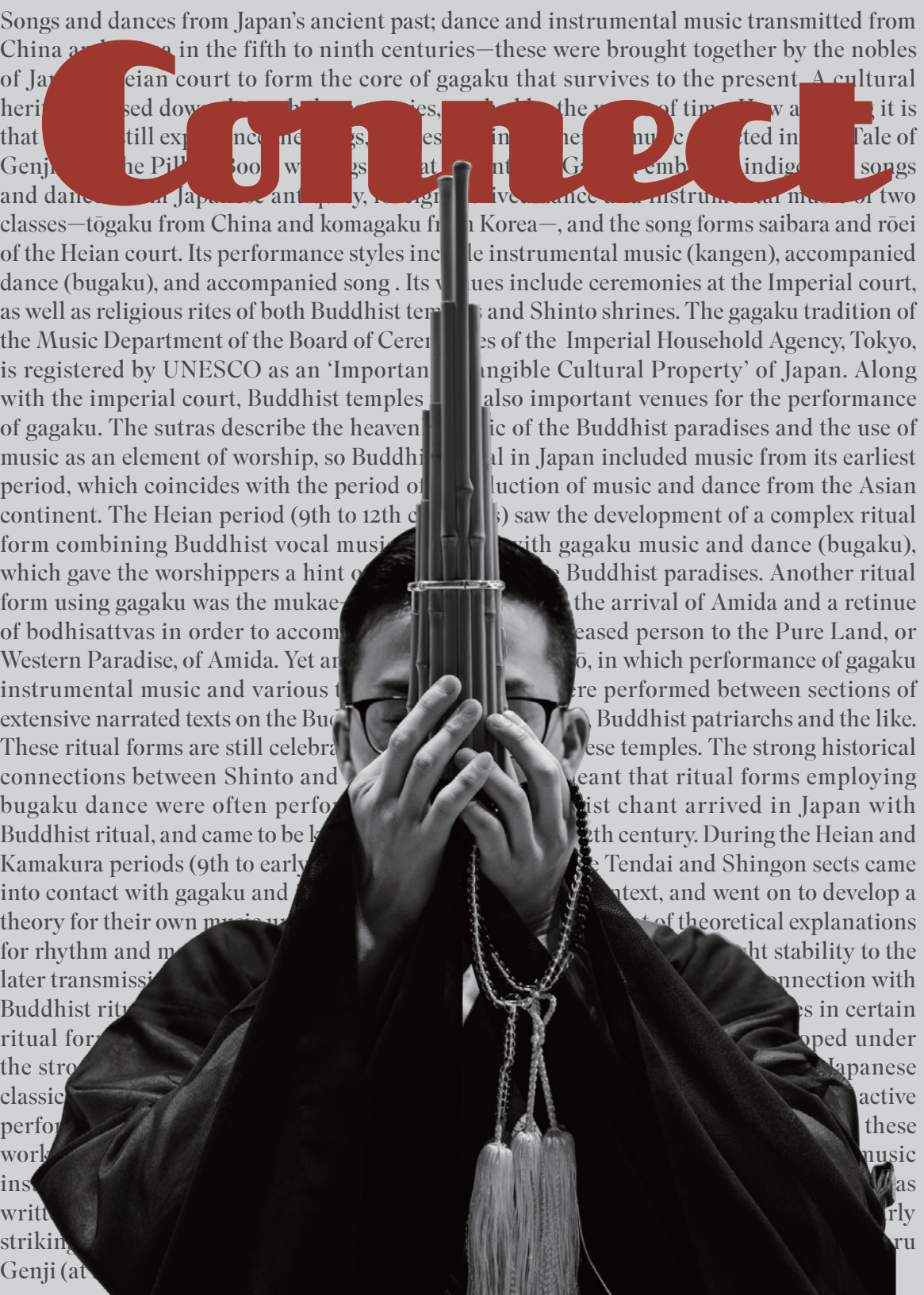


# Connect









The history of Gagaku dates back more than 1,000 years, with instruments and music introduced from the Korean Peninsula and mainland China along with the arrival of Buddhism. In the Heian period (794-1185), Gagaku became popular among aristocrats, and the Tale of Genji (Genji Monogatari) describes the ensemble music and dances of the time.

雅楽の歴史は1000年以上前にさかのぼり、仏教の伝来と共に楽器や音楽が朝鮮半島や中国大陸から伝えられた。平安時代には貴族に親しまれ、『源氏物語』にも、当時の合奏や舞楽の様子が記されている。







西本願寺の直属寺院である「札幌別院」に協力をいただき、別院本堂にて撮影を行なった。



It is the oldest music in the world, so much so that it has been called the oldest orchestra in the world.

世界最古のオーケストラと呼ばれるほど、世界中の音楽の中でもっとも歴史が古い音楽である。



## かっこ 鞆鼓

指揮者のいない演奏において、演奏開始と終わりの合図、テンポを決める。2本の木の桴ばちで両手で打つか（掻くともいう）



## 太鼓

雅楽の打楽器は3種類だが、大型のもので楽太鼓と呼ばれる。舞楽の際はさらに大きな大太鼓を使用する。

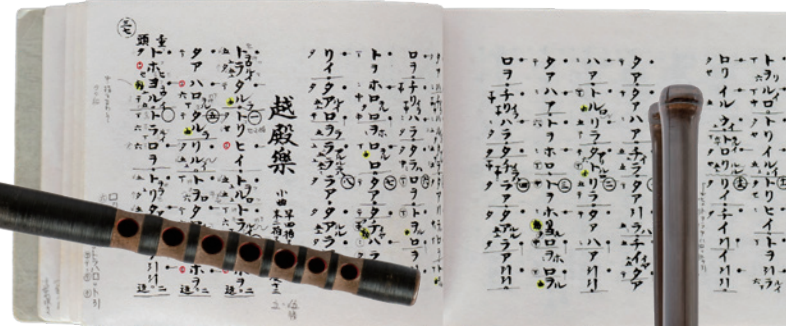
## しょうこ 鉦鼓

唯一用いる金属製の打楽器。直径15cmの程の金属の皿を2本の桴ばちで打つ。



## りゅうてき 龍笛

広い音域を持つ横笛で、旋律に彩りを添える。息の入れ方でオクターブの音域を出せる。その音色は空を舞う龍の鳴き声を表すと言われていることから、この名前が付いた。牛若丸こと源義経が吹いていたことで有名でもある。



## ひちりき 篳篥

雅楽の主旋律を奏でる縦笛。リードが用いられ、演奏前はリードをお茶に湿らせると吹きやすくなるので調整する。20cmにもみたない小さな見た目とは裏腹に、とても大きな音を奏でる。現代の奏者として東儀秀樹さんが有名。



## しょう 笙

雅楽というと笙を思い浮かべる方が多いくらい、特徴的な楽器。17本の竹管を差し込んだ構造から唯一和音を奏し、雅楽特有の独特な雰囲気を出し出す。形が羽を休めている鳳凰に似ていることから、ほうしょうほうしょう鳳笙とも呼ばれる。



# 雅楽の楽器







Gagaku has been passed down orally from master to disciple in a method called "kuden". Today, it is taught from teacher to student as in schools, but the method of oral transmission has not changed.

雅楽の伝承は師から弟子へ1対1で「口伝」と呼ばれる方法によって口頭で受け継がれてきた。現代は学校のように先生から生徒たちへ教えるが、口伝という伝承方法は昔と変わらない。



くうなんチャンネル



若い方向けの僧侶との交流イベントを開催し、その中で私たちが雅楽を演奏すると「お寺でも雅楽って演奏するんだね」と、びっくりされた。

おそらく神社などのイメージが強いのかもしれない。重要無形文化財に指定される雅楽は、主に宮中の儀式や行事で演奏されるが、寺院も雅楽が演奏される主要な場所のひとつである。法要や仏前結婚式、寺族の葬儀など、特別な時に用いられることが多い。雅楽をやっていると、(僧侶の)友人の結婚式に雅楽演奏で参加するなんてことも。優雅な音色で法要を華やかにすると共に、極楽浄土には美しい音楽が鳴り響いているという經典の記述から、音楽で荘厳するという意味を合わせ持つ。

雅楽の特徴は、楽器のルックスや音色はもちろんだが、西洋の音楽と違って指揮者がいないことが最大の特徴と言っても過言ではない。

(ただし、鞆鼓の奏者がその役割を担っている。)

奏者の呼吸や間合いによって構成され、他の楽器の演奏を聴いたり、他の奏者の指の動きを見て間合いをはかることで、合奏を作り上げる。

雅楽から伝統文化を学ぶことはもちろん、人と人との調和を大切にすることから普段の人間関係にも通じるものがあるのではないだろうか。

雅楽を聞く際はそんなことにも注目してほしい…と言いたいところだが、なかなか機会が少ないかもしれない。

このたび、空知南組内僧侶有志の雅楽会「妙音会」の協力のもと、演奏を撮影してYouTubeにアップしたので、是非一聴していただきたい。





私たちは北海道南空知地区を拠点として活動する浄土真宗本願寺派寺院の団体「空知南組」、通称「くうなん」です。

Connect（コネクト）という誌名は、くうなんのスローガンである「つたわれつながれ」が由来となっています。

Editors TAKUYA KANNO  
HIDETOMO SUGITA  
TATSUTO NAGAOKA  
Designer HIROYUKI YAMAZAKI